

生徒会役員選挙が行われました。

12月9日(金)の午後、生徒会役員選挙が行われました。体育館に一同に会して立会演説会を行うことはできず、候補者と応援演説者のメッセージは放送室から各クラスに配信する方法で実施されました。選挙管理委員会委員長の諸説明のあと、会長候補から順に思いを語ってくれました。横で見ましたが、緊張しながらもスゴく頑張って話してくれていました。候補者のみなさんは、あいさつのこと、ボランティア活動のこと、校則の見直しのこと、生徒会新聞のことなど、自分のやりたい



ことをしっかり伝えていました。応援者の人は候補者がどんな人なのかを普段接する中でのエピソードを交えて話していました。

演説会の後はいよいよ選挙です。前号で選ぶ側の責任について書きましたが、演説を聞いてしっかり考え判断してくれたことを信じています。3~5年後に選挙権を得るみなさんに少しでも関心を持ってもらうため、香芝市選挙管理委員会から実際の国政選挙等で使う投票箱を借りてきました。写真のように廊下に投票所を設け、そこで順



に記入し、その後別室に立会人のもと設置した投票箱に投票する、まさに実際の選挙さながらに実施してくれた学年もありました。できれば次回からはこの方法を全学年で採用したいと思います。

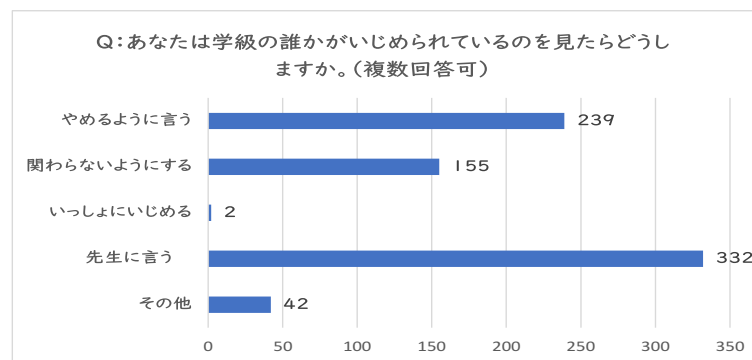


12日(月)の朝、放送にて選挙管理委員会委員長から当選者が発表されました。選ばれたみなさん、しっかり香芝北中学校をリードして行ってくださいね。また惜しくも選ばれなかったみなさんは今後一番の理解者(サポーター)として新生徒会役員に協力をお願いします。生徒が主体的に活躍できる学校をみんなの力で創って行ってくださることを願っています。



少し考えてみてほしいことがあります。

11月2日(水)に実施した『いじめについてのアンケート』ですが、実態把握だけでなく、みなさんの意識を問う質問がありました。下のグラフを見てください。



「いじめられている場面に出くわしたらどうするか」という質問に対して155人が「関わらないようにする」と回答しています。「やめるように言う」にはかなりの勇気が必要です。自分ではどうしようもできないと思ったなら「先生(大人)に言う」こともできるはず。それもしないで「関わらないようにする」でいいのでしょうか。

本校のホームページの『今年度の方針』の中に『香芝北中学校 いじめ防止基本方針』というものを挙げています。その中には次のように記述しています。

いじめは、「いじめる生徒」と「いじめられる生徒」以外の「観衆」としてはやしたてたり、おもしろがったりする存在や「傍観者」の存在にも注意を払い、集団全体にいじめを許容しない雰囲気醸成することが大切である。「観衆」や「傍観者」をいじめを阻止したり、いじめを教員に伝えたりなど、いじめを抑止する力になる「仲裁者」に変えていく取組が必要である。

「いじめ見逃しゼロの学校」を目指しています。一人でも多くのみなさんが「仲裁者」になってくれることで、誰もが安心して安全な学校生活を送れると信じています。

『勉強しよータイム三者懇談中+α』開催します!

すでに教室でアナウンスがあったと思いますが、三者懇談会の2日間勉強会を開催します。12月21日(水)、22日(木)いずれも9:00~11:00。場所は本校図書館です。テスト前勉強会同様、学習ボランティアの方も来てくださいます。

冬休みの宿題、2学期の復習等、自分で決めた内容に取り組んでみませんか! 家ではなかなかやらないって人、どんどんおいでよ!! 都合の良い時間に来て帰っていいよ。みんなで力をつけようぜ!! 待ってます!!